

九州北部豪雨災害支援プロジェクト

活動報告と会計報告

宮古災害復興支援活動チームM.A.D
早川 輝

支援概要(7月14日発表)

〈現状とお願い〉

M.A.Dは、宮古市社会福祉協議会と、生活復興支援センターを協働で運営しています。

その宮古社協との協働のひとつとして、「九州北部豪雨災害支援プロジェクト」を行います。

現地の情報収集や支援についての協議を行ない、現地のニーズにあわせ、調整の上、スタッフや物資を送る予定です。

そのために、支援金の寄付をお願い致します。

但し、現地のニーズによって支援金として活用できない場合、義援金として取り扱わせていただきます。

〈支援プロジェクト概要〉

- ・支援金を集めます。支援金として活用できない場合、義援金とします。

- ・土地勘のあるスタッフを九州北部に派遣し、支援に必要な情報を集めます。

- ・ボランティアとして、支援活動にあたります。

- ・必要に応じて、現地災害ボランティアセンターのサポートにあたります。

- ・現地の支援活動の情報を元に、宮古から物資支援を検討します。

- ・義援金を送るための情報を集め、支援金を元に、適切な人々へ義援金を送ります。

- ・その他、九州北部へ必要な支援を検討します。

〈義援金と支援金の違い〉

義援金は、主に直接被災者へ配分されるお金。

支援金は、主に災害支援の現場で活動する人を応援するお金。

八女市へ

基本情報

面積: 482.53km²

人口: 67,499人

(平成24年2月に黒木町、立花町、星野村、矢部村が編入合併)

概要: 八女市は福岡県の南部、福岡市から南へ約50kmに位置し、北は久留米市、広川町、西は筑後市、南は熊本県、東は大分県に接しています。面積は39.34km²から平成22年の近隣2町2村との合併後482.53km²となり、総面積県内2位となりました。中南部は平野、北東部は森林で占められている中核都市です。市の中央部を国道3号線が南北に、国道442号が東西に走り、西端には九州縦貫自動車道が通じ、八女インターチェンジがあります。豊かな大地に育まれ、古代から栄え、八女丘陵には岩戸山古墳をはじめ多くの古墳があります。また手すき和紙・仏壇・提灯などの伝統工芸品や茶・電照菊・椎茸などの農産物も自慢のひとつです。

八女市公式ホームページより <http://www.city.yame.fukuoka.jp/>

小学生の頃、
家族旅行やキャンプなどで毎年訪れていました。
豊かな自然に囲まれた素晴らしい場所です。

福岡県内でもとりわけ被害が大きく、災害復旧の初期段階に
時間がかかるであろうという判断から、「八女市」に支援に行くことを決めました。



八女市社会福祉協議会 災害ボランティアセンターの様子



災害VCは7月16日に開設し、18日から活動を開始しました。



ボランティアさんに配る飲料水は、自慢の八女茶！



八女市全域の地図が貼ってあります。



かわいキャンプで長期間活動していた福岡県出身のボランティアさんと再会



全国の「被災地」と呼ばれていた場所から届いた大量の資機材



宮古を救ってきた資材も活躍していました！

八女市被害状況



川の氾濫による水害と
山からの土砂崩れ

主要な道路が寸断され、
孤立する地域が多数

個人農家が多い土地柄
茶畑や果樹園、水田などが
壊滅的なダメージを受けた

建物被害	
全壊	124
流失	17
大規模半壊	34
半壊	156
床上浸水	636
一部損壊	53
床下浸水	604

活動内容①床下の泥出し

河川の増水・洪水により、床上浸水の住宅が多数

- 連日の泥出し作業

初日の活動先は、近くを流れる川の増水により床上浸水の被害に見舞われる。翌日から家族一同で片付けを続けていたが、その後ボランティアの派遣を要請依頼されていた活動を終えボランティアセンターに帰る頃になると、ようやく依頼主さんのホッとしたような安堵の表情がうかがえました。



活動内容②ボランティアセンター運営補助

宮古市生活復興支援センターで災害ボランティアのコーディネートに携わっている立場からの支援

- ボランティアセンター運営補助

宮古市での経験から、様々な運営方法や次に起こりうることなどについてスタッフ間で会議を重ね、より良い支援につながるようにサポートをしました。

- ニーズの聞き取り調査

被災した方が、どこで、どのように困っているのか？

八女市社会福祉協議会の職員と一緒に、被災した地域に要望を聞いて回りました。



活動内容③長野地区泥出しニーズ調整

八女市内で被害戸数が圧倒的に多い長野地区

地区の公民館にサテライトを設け、ボランティアセンタースタッフが常駐

- 一日に最大で100人を超えるボランティアがこのサテライトに集結し、支援が必要な場所に割り当てられて、活動に向かいます。
- 地元青年会議所の協力により、床下の泥出しにバキュームカーを使えることになったので、通りを歩きながら作業の必要有無を聞いて回りました。
- バキュームカーでの作業が不可能な場所は、人力で作業を行います。



会計報告

収入		
支援金合計		479,911円
支出		
旅費	燃料代	32,341
	高速道路代	57,800
	フェリー代	46,700
	宿泊代	59,050
備品費	文房具代	3,411
	地図代	4,740
	その他	2,580
通信費	土のう袋郵送代	28,800
	タオル郵送代	4,440
	振込手数料	735
寄付金	八女市社会福祉協議会へ	239,314
合計		479,911円

7月14日～31日の18日間で、多額のご寄付を頂きました。活動を支援して下さい皆様、本当にありがとうございました。

実際の支援活動に240,597円を使わせていただきました。残金の239,314円につきましては、仮設住宅支援など、災害復興支援のための活動支援金として、八女市社会福祉協議会に寄付いたしました。（9月26日現在）